

写真特集

東京ヤクルトスワローズ 11/6~21

秋 季 キ ャ ン プ



期間中に行われた各イベントでの選手と市民ファンとの交流を写真で振り返ります。

隅田 百夏さん (潮見小6年)



教わったことを今後にかしたい

憧れの選手を間近で見ることができ、もっと練習して上手になりたいと思いました。フライを取りたいときは棒立ちではなく、足を前後に開いて動きながら取るのが大事と教えてもらい、今後の練習ではその教えを守りながら、自分なりに工夫してやっていきたいと思います。



西田選手の豪快な打撃に子どもたちはくぎ付け (野球教室)



松山フェニックスとの練習試合 (11月15日)



期間中はセ・リーグ優勝トロフィーなどが特別展示された (松山中央公園)

大越 隆平さん (石井北小6年)



選手を見習って努力したい

プロ野球選手はとても大きく、球がとても速くて、キャッチした手が痛くなりました。選手たちはキャンプで毎日8時間練習していて、プロ入り前はまだ10時間以上練習していたと聞き、すごいと思いました。進学後は野球をする予定なので、選手を見習って努力したいです。



生徒から似顔絵のプレゼント (東雲小訪問)



選手とキャッチボール (石井北小訪問)



雄平選手による打撃指導 (野球教室)



市長による陣中見舞い(11月10日)



特別写真展 (の・ボールミュージアム)

観光・国際交流課 ☎ 948 6887・FAX 943 9001



豪快な鉢合わせを披露



柯市長(右)と意見交換する野志市長



神輿に乗る柯市長

今回は、道後伊佐爾波・湯神社八町会や地元民間企業協力のもと、神輿4基が参加。台北市政府前をはじめ、北投温泉、松山区の松山駅前や松山慈祐宮前で計6回の鉢合わせを披露し、約8万人の台北市民を魅了しました。

野志市長は台北市の柯文哲市長を表敬訪問。両市に同じ名称を持つ松山空港があることで、双方の空港を結ぶ定期便の就航など、今後の両市の交流について意見交換を行いました。

10月29日から11月2日に市友好交流訪問団総勢31人が台北市を訪れ、「2015台北温泉まつり」に参加しました。今回の訪問では、台北市政府からの要請により、(公財)松山観光コンベンション協会と連携して、昨年10月13日に台北市と締結した友好交流協定1周年を記念し、再度、神輿の鉢合わせが披露されました。

神輿は海を越えて 市訪問団 台北市長を表敬訪問・台北温泉まつりに参加